

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

平成26年4月の「**優しさ通信**」

仕事と介護、両立したい



家族の介護は、誰でも直面しうる課題です。しかし、女性が介護の主な担い手として期待されるケースは今なお多くあります。女性が働き続けるうえで、仕事と介護の両立は切実なテーマです。

介護しながら働く人の半分以上は女性

全体291万人 内 女性55% (1,601,000人)
男性45% (1,309,000人)

介護離職した人の8割が女性 (過去5年間)

全体487,000人 内 女性389,000人
男性 98,000人

(2014年3月1日 日本経済新聞記事から抜粋)

パーキンソン病 i p s 細胞で治療 — 京大、2016年にも



京都大学 i p s 細胞研究所は、i p s 細胞を使い手足などが震える神経の難病であるパーキンソン病を治す臨床研究を2016年にも始めます。i p s 細胞から育てた神経細胞を移植し、脳の機能を回復させます。

(2014年3月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

医療・福祉、最大産業に — 厚労省30年推計

就業者数908万人



厚生労働省の推計によると、2030年には産業別の就業者数で、医療・福祉の分野が最大になることがわかりました。

医療・福祉の就業者数は2012年と比べ最低でも202万人増え、908万人になります。大幅に減る卸売・小売業と製造業を抜き、首位になります。

(2014年3月15日 日本経済新聞記事から抜粋)

テーマは「**優しさ**」住まいの福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

特養ホーム待機52万人 — 2013年度 4年間で10万人増



厚生労働省は、特別養護老人ホームに入所できていない高齢者が、2013年度は522,000人に上るとの調査結果を発表しました。

前回調査の2009年度から4年間で約10万人、24%増えました。

(2014年3月26日 日本経済新聞記事から抜粋)

